

平成 30 年度 地域ケアプラザ事業報告書

■ 施設名

大豆戸地域ケアプラザ

■ 事業報告

今年度、地域ケアプラザの管理運営をどのように行ったのか、具体的に記載してください。

以下、地域ケアプラザ事業実施評価との共通部分

1 全事業共通

地域の現状と課題について

圏域人口約 64,000 人、高齢者人口 12,000 人、介護保険認定者数は要支援者 562 人、要介護が 1,637 人と年々増加傾向にあります。要支援者は約 400 人がサービスの利用をしており約半数が要支援 1 と早くから介護保険サービスを利用する地域です。

地域は、大豆戸、菊名、新横浜、大倉山、篠原北、錦が丘とそれぞれに地域性があり各地域の特性や状況に合わせてのアセスメント、支援が必要になっています。地域のサロンなどのインフォーマルな活動よりも公的な介護保険サービスなどを利用する方が多いエリアです。今後も住民の年齢分布状態から読み取っても、さらに要介護認定者が増加していくことが予測されます。高齢世帯、単身世帯、認知症の方の増加から地域で継続して生活をしていくことが難しいケースが増え続けることが予測されます、地域住民同士がお互いに支える仕組みを作っていくためのサポートが必要です。

(1) 相談（高齢者・子ども・障害者分野等の情報提供）

福祉相談窓口は、担当者が不在にならないよう勤務調整を行い、速やかに相談対応・情報提供できるよう努めました。また、地区社協の定例会議、民児協定例会等へは必ず職員 1 名が参加できるよう調整を行い、地域の状況、環境等について情報収集を行いました。そして、必要な情報は関係者間で共有致しました。

月に 1 回、区役所担当者との定例カンファレンスを実施し、個別ケースの対応事例について相談、情報共有を行いました。

(2) 各事業の連携

毎朝朝礼を行い、各自の業務内容について情報共有を行いました。月に 1 度、包括 3 職種、地域活動交流、生活支援合同での 5 職種会議を開催し、各部門の取り組みや課題について共有、連携をしました。

多職種で連携し、地域や事業所、企業などを対象とした認知症サポーター養成講座を開催しました。

(3) 職員体制・育成、公正・中立性の確保

法人内外で開催される研修・勉強会への参加を支援しました。また、研修参加者を講師とした、内部での伝達研修を実施することにより、OJT教育の徹底、全職員の専門性・総合的な能力の向上に努めてまいりました。お客様が事業所選定等をする際、適正な事業者情報を提供し公正・中立性が確保し、研修や会議を通じて職員が意識をもてるように指導していきました。

(4) 地域福祉保健のネットワーク構築

「ひっとプラン港北」第三期の3年目として、中間までの取組結果を振り返り、後期に向けての活動支援を実施していきました。また、会議・地域行事などに出席し、関係性の構築と継続、地域資源の発掘に取り組んでまいりました。

地区社協推進委員会および定例会議への出席をしました。また、地区社協や地域住民が主催で開催する行事へ参画し、ケアプラザの周知や関係性の構築に努めました。

(5) 区行政との協働

毎月地域定例カンファを開催し、港北区役所の福祉保健課職員と港北区社協職員と情報交換を行い、ケアプラザの役割を確認し地域の課題解決に取り組みました。

また、区・区社協と共に「ひっとプラン港北」の区計画・地区計画の推進を行い、地域支援を実施しました。

2 地域活動交流事業

(1) 自主企画事業

これまでケアプラザ利用の機会が少なかった世代に来館していただけるような事業の企画を心がけました。横浜労災病院と共催し、乳幼児の救急や成長、乳がん検診をテーマにした講座を開催し、30代から50代の女性を中心にご参加、来館していただくことができました。

小学生を対象とした事業では、休日や夏休み、冬休みなどの長期休暇を使用した夏休み自由工作教室（19名参加）、書初め教室（10名参加）などの事業を開催しました。また、男性向け講座として開催された「男の料理」受講生にボランティアとして協力していただき、子供向けの料理教室を開催（男の料理3名、小学生10名参加）、次年度も継続して行うことが決定しました。

(2) 福祉保健活動団体等が活動する場の提供

貸館利用を希望する団体には、活動内容・利用希望日等を十分にヒアリングし、貸室団体登録や、その活動への支援を行いました。またボランティアなどの福祉保健活動への参加について、自主事業への協力や活動場所の紹介・調整を行い、活動の支援を実施しました。(まめどのサロン事業協力、デイサービスへの演芸披露、貸室備品の整理整頓など)

3月末に2回、貸室利用に関する説明会を登録団体対象に開催しました。各団体の代表者含め81名にご参加いただき、ケアプラザ利用のルール確認や貸室利用に関する要望・質疑などを行い、問題点などの改善を図りました。

(3) ボランティアの育成及びコーディネート

月に一度ボランティア連絡会を開催し、自主事業へのボランティア依頼、グループホーム見学会の企画・実施を行いました。また、新規ボランティアの獲得と育成を目的として、よこはまシニアボランティアポイント登録研修会を基礎とした、ボランティア講座を実施しました。講座では担い手を募集している自主事業、地域の通所型サービスB事業所でのボランティア体験を実施、ケアプラザだけではなく、他の介護施設や地域の活動拠点など、活動場所の紹介やコーディネートを行いました。講座受講者11名の内、5名を活動場所とつなげることができました。

(4) 福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供

地域の課題やニーズを把握するために、地域の関係団体等(町内会、地区社協、民生委員、保健活動推進員、地域住民、行政等)からの情報収集に努めました。

30年度は、大倉山さくらまつり、らくらく市、どろっぷデー、大倉山ささえあいまつりなどに参加をし、地域住民との交流やケアプラザ及び事業の周知、広報を行い、情報提供に努めました。

ケアプラザの事業や地域での活動などについて、年6回(各回2700部発行)のケアプラザ広報紙や区内報、地域情報紙などを活用して、地域及び関係機関へ向けて情報提供を行いました。また、法人のホームページやケアプラザ独自のブログも活用し、様々な媒体を通じた情報の発信に努めました。

月に1度開催される港北区コーディネーター連絡会や子育て支援施設どろっぷによるココめーる編集会議、港北区5職種全体会などに参加し、担当エリアに限らず、港北区内の情報収集についても努めました。

3 生活支援体制整備事業

(1) 事業実施体制

月に一度、五職種会議を開催し課題、今後の方向性を共有し連携を図り地域包括ケアシステムの構築を行ないました。月に一度、区、区社協との定例カンファレンスで、必要時に円滑な連携ができるように情報交換を行いました。

事業では、連絡の取り合える状況を作り高齢者の孤立を防ぐために始めた、シニア向けスマートフォン講座や若い世代からケアプラザを利用していただくために、和みのヨガ、高齢者が心身共に活性化を図るために、歌って元気IN大豆戸を行いました。参加者の方から継続の意向をお伺いし次年度も行うことが決定しております。

(2) 地域アセスメント（ニーズ・資源の把握・分析）

継続して地域活動に出向き、情報収集し資源の把握をすると共に、地域住民または支援者からニーズの聞き取りを行いました。

(3) 連携・協議の場

現在ある協議体を継続して支援すると共に、新たな協議体ができるように、地域ケア会議や民児協、事業を通して地域住民または支援者に地域の現状をお伝えしました。現在ある地域活動の発展、または新たな活動を創出に繋がられるように地域の方々の関係の構築を行いました。

(4) より広域の地域課題の解決に向けた取組

区と区社協と港北区の二層の生活支援コーディネーター連絡会で情報交換を行い、お互いの共通の地域課題を確認し今回は【企業連携】【よこはまシニアボランティア登録研修会】を目標に掲げ、企業連携では就労支援スポットに見学と実際に就労支援スポットの方を招き相談状況をお聞きしました。よこはまシニアボランティア登録研修会では 55 名の方が参加されました。連絡会で行うことで自分ひとりでは出来ないことが取り組めました。

今後も関係機関と連携を深め、情報の共有化を図り、お互いの役割を理解し活動を行います。また、地域での活動を把握して、活動の範囲を広げるために必要なときは、各必要機関と密に連携できるよう配慮します。

4 地域包括支援センター運営事業

(1) 総合相談支援業務

① 地域におけるネットワークの構築

行政機関や民生委員、介護保険サービス事業者、インフォーマルサービス等の事業者と共に地域の情報収集を行いました。地域住民が、住み慣れた自宅で暮らし続けられるように、情報を関係機関で共有し、地域のネットワークを構築していきました。

また、地域課題を抽出、検討するために地域ケア会議を開催しました。

平成 30 年 9 月 10 日（月）個別「新横浜地域居宅 CM とのケース検討」

平成 30 年 11 月 7 日（水）包括「新横浜エリア」

平成 30 年 11 月 26 日（月）個別「1 件の家に 2 種類のサービス」

平成 31 年 3 月 8 日（金）包括「小規模多機能が地域とともに歩んでいくために」

②実態把握

行政機関や地域の関係者（民生委員など）、介護支援専門員とのネットワーク構築に努め、カンファレンスや地域での話し合いを開催しました。密接な連携と情報共有を図り地域のニーズ把握に努めました。

ケアプラザで相談を受けるだけでなく、ケアプラザに来られない方たちのために地域に出向き、出張相談会を開催し、実態把握に努めました。
閉じこもりがちな高齢者が多くなってきている現状があり、大豆戸の事業にとどまらず、地域のサロンへお誘いし、外に出るきっかけ作りに努めました

③総合相談支援

相談窓口においては、高齢、障がい、子ども、医療等の各分野の制度や情報の収集は日頃から意識し、担当者が不在にならないよう勤務調整を行い、速やかに提供できるよう努めました。

相談窓口はもちろんの事、民生委員の会合への出席や出張相談会を通し、地域の高齢者の心身の状況や生活環境の把握に努めました。

内容が多岐にわたる相談には、区との情報共有を随時行い、連携した対応が行えるよう、毎月の区との定例カンファレンスではケース会議を実施しました。

地域の拠点に出向く相談会は、大豆戸・新横浜地区に関して継続して行い相談時には早急かつ丁寧な対応を図っていきました。傾聴をしっかりと行い、ご本人様や家族に寄り添う対応を心がけました。

また、求められている情報提供を速やかに行っており、必要時は区や関係機関の連携を円滑に行っていました。区役所との情報共有を常に行うことで連携強化を続けました。

月平均250件の相談件数を3職種連携して対応していきました。また、生活支援コーディネーターとの連携により地域資源への連携や活用を図っていきました。民生委員や地域と日頃から関わっていくことで情報提供をしていただき、問題の早期発見を継続していきました。また、独居や問題を抱えている方は後追いケースとして継続的に見守りしていきました。

平成30年5月24日（木）認知症サポーター養成講座@菊名ハイツ 17名参加

平成30年6月14日（木）消防講座 @新横浜町内会館 16名参加

平成30年7月17日（火）消費者被害予防講座 @新横浜自治会館 13名参加

平成30年9月25日（火）消防講座 @大倉山ハイム集会室 20名参加

平成30年10月19日（金）成年後見のお話 @大豆戸町内会館 15名参加

平成30年11月27日（木）認知症サポーター養成講座@大倉山ハイム 21名参加

平成31年2月21日（木）消防講座 @大豆戸町内会館 8名参加

平成31年3月22日（金）消費者被害予防講座@大倉山ハイム 11名参加

(2) 権利擁護業務

① 成年後見制度の活用促進・消費者被害の防止

成年後見制度に関する相談に対しては専門家と連携をとりながら関わらせていただきました。また、医療ニーズの高い方に関しては医療機関の協力のもと、早急対応できるように、専門家と連携強化を図っていきました。

各地区にて成年後見制度の講座を開くことで普及啓発も図っていきました。

大倉山：成年後見のお話@太尾防犯拠点センター 6月22日開催 24名参加

菊名：上記内容同様 @菊名北町会館 9月27日開催 13名参加

篠原北：上記内容同様 @ニュー菊名ハイツ集会室 10月1日開催 8名参加

弁護士、行政書士による無料相談会も年に1回開催致しました。

法テラス（弁護士）による無料相談会@大豆戸ケアプラザ 6月16日開催 2名参加

行政書士による無料相談会 @大豆戸ケアプラザ 9月29日開催 6名参加

区役所と共同で成年後見に関するチラシを作成し、各関係機関のラックや掲示を依頼しました。

② 高齢者虐待への対応

虐待ケースには慎重かつ丁寧に区や関係機関とチームとなって関わっていき、カンファレンスの場を設け連携に努めていきました。双方で把握している虐待ケースの情報共有をケースカンファレンスの場で定期的に行いました。

区役所とは虐待専用の相談用紙と起案を作成することで、早期に情報共有し、継続的な関わりを行っていきました。

虐待の早期発見・早期介入を目指し、居宅介護支援事業所やサービス事業所に3ヶケアプラザ合同で虐待防止ハンドブック研修を随時行っていきました。

- 6月29日 樽町ケアプラザにて開催
- 8月24日 下田ケアプラザにて開催
- 12月13日 城郷小机ケアプラザにて開催

また、他ケアプラザと共催で事業所スタッフ向けにハンドブック研修を行いました。

8月29日 オハナ菊名にて開催（※篠原ケアプラザと共催）

11月27日 寿楽荘にて開催（※篠原ケアプラザと共催）

2月19日 花織こうほくにて開催（※篠原ケアプラザ・城郷小机ケアプラザと共催）

③ 認知症

認知症に関する相談には早急対応させていただきました。医療的介入が不可欠なため、横浜市総合保健医療センター等との連携強化も引き続き行っていきました。

必要時は認知症初期集中支援チームへ相談をあげ、連携することで、適切な支援に結びつくことができました。

各地区にて認知症サポーター養成講座を開催し、地域での認知症の理解を深めることができました。エリア内でご要望があれば迅速に対応しました。毎回、キャラバンメイトに声かけ、参加していただくことにより、キャラバンメイトのスキルアップとモチベーションアップを図りました。

港北図書館においてはキャラバンメイトと共同で認知症ブースの拡充を図るとともに、共催にて認知症サポーター養成講座のシリーズ3回講演を行いました。当事者の方をゲストスピーカーにお呼びするなど、より深い理解と知識を提供させていただくことができました。図書館と共催することで新たな年齢層や職種の方々にも参加していただくことができました。また、当事者の方々にも参加していただくことで認知症

への理解がより深まりました。
子どもにおいては、エリア内のすべての学童保育での開催アプローチを図りました。
次年度より学童にて開催できればと考えています。

認知症サポーター養成講座開催件数 21回 延べ参加人数 722名

- | | |
|-------------------------|----------------------------|
| ① H30.5.24 菊名ハイツ 12名 | ② H30.6.28 港北図書館 18名 |
| ③ H30.8.30 港北図書館 38名 | ④ H30.9.26 中央労働金庫 30名 |
| ⑤ H30.9.28 港北図書館 42名 | ⑥ H30.10.26 港北図書館 70名 |
| ⑦ H30.11.14 日本総合住生活 45名 | ⑧ H30.11.15 総合警備保障 25名 |
| ⑨ H30.11.27 大倉山ハイツ 21名 | ⑩ H30.12.12 日本年金機構 22名 |
| ⑪ H30.12.12 日本年金機構 36名 | ⑫ H30.12.13 総合警備保障 25名 |
| ⑬ H31.1.17 総合警備保障 19名 | ⑭ H31.1.24 YMG 居宅介護事業所 27名 |
| ⑮ H31.1.29 フコク生命 9名 | ⑯ H31.1.24 横浜水道局 77名 |
| ⑰ H31.1.25 横浜水道局 59名 | ⑱ H31.1.31 ツムラ(株) 31名 |
| ⑲ H31.2.1 横浜水道局 53名 | ⑳ H31.3.5 総合警備保障 11名 |
| ㉑ H31.3.13 日本総合住生活 52名 | |

(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

① 地域住民、関係機関等との連携推進支援

民生委員とケアマネジャーがスムーズな連携を図れるように支援を行ないました。
エリアの居宅介護支援事業所向けに勉強会を開催し、民生委員や地域の方が行っている活動やインフォーマルなサービスをケアマネジャーに向けて紹介しました。
毎月の民児協定例会に参加して、民生委員さんとの情報共有を行いました。
生活支援コーディネーターと連携して地域情報の収集に努めました。

② 医療・介護の連携推進支援

医療と介護の連携がスムーズに行えるように各機関と連携を深めていきます。協力医による医療相談、事例検討会を開催しました。新横浜フォレストクリニック、しんよこメンタルクリニック、新横浜在宅クリニックの研修会に参加して顔の見える関係が構築できました。
また、高齢者支援ネットワークにも引き続き参加し情報の共有等を図りました。エリア内の医療機関、薬局に広報誌とケアプラザの案内を訪問して配布しました。

③ ケアマネジャー支援

要支援委託ケース(170件ほど)の担当者会議に参加することで、ケアマネジャーとの顔の見える関係構築を図りました。

ケアマネジャーとのやりとりの中で研修や勉強会のニーズ把握に努めました。また、介護保険制度が複雑になるなか、タイムリーな情報の収集に努め、ケアマネジャーからの相談に対応しました。

支援困難ケースの相談に関しては、同行訪問も含め、相談内容により三職種で専門性を生かして対応しました。

エリア内の居宅介護支援事業所向けの研修会を立ち上げ、2回の勉強会を行いました。7月11日(水)「インフォーマルサービス」26名

2月20日(水)「認知症」21名

(4) 多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

区役所、居宅介護支援事業所、小規模多機能事行所、警察、消防、民生委員、医療機関、訪問看護、薬局等関係機関と連携して地域ケア会議を開催しました。多問題を抱えるケースでは、地域でどのような支援ができるかを多職種で検討を行い支援を行ないました。

(5) 介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）

介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）

お客様のできることを共に発見し、地域のつながりを維持しながら、有する能力に応じた柔軟な支援を行い、自立意欲の向上に繋げていくよう支援しました。

介護予防支援計画は生活機能の低下が生じた原因に対応し、且つ効果がみられるものとししました。

お客様の介護予防支援計画を作成するに当たり、いつまでに達成できるかがわかるように、具体的な目標をたてました。

プラン作成時は、サービスの実施状況や効果を評価し、横浜市介護予防・日常生活支援総合事業も含めお客様、ご家族の要望をお聞きしてサービスの内容の見直しをしました。

(6) 一般介護予防事業

一般介護予防事業

高齢者を対象に住み慣れた地域でいきいきと元気に過ごせるよう、ロコモティブシンドローム予防講座5回シリーズを開催、体操、フットケア、生活に役立つ便利グッズを行い述べ58名参加。男性が参加しやすいように、男性限定のプログラムとして男性の自立のための料理教室&健康講座として、1クールを開催しました。

大倉山元気づくりステーション、元気づくりステーション菊名の後方支援、通いの場の充実を図りました。

5 その他

--

以下、地域ケアプラザ事業実施評価との相違部分

施設の適正な管理について

(1) 施設の維持管理について

ケアプラザは、高齢者、障がい者、乳幼児等、心身の状態が不安定な方も含めて、地域の様々な方に安全に利用して頂けるように、建物の空調設備、電気設備、消防設備、自動ドア、エレベーター等の点検を定期的に行い、安全確保と設備が正常に作動することを確認しました。今後も館内の清掃及び消耗品の補充等を行い、地域の皆様が快適に安心して施設を利用し、サービスが受けられるよう、施設の維持管理に努めます。

(2) 効率的な運営への取組について

当法人が指定管理にて運営しているケアプラザが 20 ヶ所というスケールメリットを生かして、経費の節減や業務に関するノウハウなどの情報を共有しました。

地域ケアプラザの労務、経理、介護保険請求事務等の事務処理に関しては、法人本部と連携し法人内の全ケアプラザの事務担当会議を定期的開催し、情報交換や業務を効率よく進めるための話し合いを行いました。

使用頻度の高い消耗品類は、法人全体で調査し、できるだけ低価格の業者を選び、コスト削減に努めました。

(3) 苦情受付体制について

法人で定められた苦情解決規則に基づき、ケアプラザにおいても苦情受付担当者、苦情解決責任者を設置して、お客様からのご意見、ご要望、また苦情等に迅速に対応しました。

ケアプラザ玄関脇の職員から見えにくい場所に意見箱を置き、自由な意見を出しやすい環境を作りました。皆様から頂いたご意見、苦情を真摯に受け止め、原因・事実関係を明らかにし、要望策をしっかりと検討し、再発防止に努めています。

また法人では公正・中立の立場からあつせん、調整を行う第三者委員を設置し、適切な苦情解決に向けての体制を整備しています。

(4) 緊急時（防犯・防災・その他）の体制及び対応について

ケアプラザでは緊急時（防犯・防災等）に備え、対応マニュアル、連絡網を整備しています。緊急事態となった場合には、救助や消防・警察への通報など1次対応を行い、合わせて法人本部を含め情報を共有するとともに、市・区等関係者に連絡し適切に処理しました。

防災に対しては消防計画等を策定し、港北消防署の協力を得て、年2回の防災訓練を行いました。（30年9月28日、31年3月11日）

防犯に対しては、日中は職員が巡回を行い、夜間は機械警備を行いました。

また、港北区と特別避難場所として協定を締結し、災害時に地域防災拠点では避難生活を送ることが困難な高齢者などの避難場所としての役割を担いました。

防災備蓄庫には、毛布・おむつ・食料品・水等の物資ほか簡易トイレ等を常備し、不備の無いよう定期的に点検し、非常時に備えました。

(5) 事故防止への取組について

事故発生時には、速やかに法人本部に第1報を入れ、その日のうちに原因を究明・分析し、対応策を検討しました。事故状況に応じて横浜市提出用、所内用の報告書を作成し、基準に則り区と市に報告を行いました。事故防止の取組みの一環として、ヒヤリハット報告書を作成し事故が未然に防げるように予防策の検討を行いました。

また所内の各種会議で事故及びヒヤリハットを報告し、職員全体に周知・徹底するとともに事故防止への意識を高めています。

毎月開催される法人内のケアプラザ所長会では、他の事業所での事故の事例を報告し合い共有することで、自事業所での対応の参考とし、事故再発防止に努めました。

(6) 個人情報保護の体制及び取組について

法人の個人情報保護規程にて、各事業所で個人情報の管理に関する担当者、責任者が定められています。職員全員を対象に法人主催で個人情報保護、情報セキュリティ研修が行われました。研修を受講した職員は、所内で伝達研修を行い、啓発に努めました。

契約書、記録類は施錠できる書棚や引き出しなどで保管しています。個人情報を持ち出す際は、所属長に承認簿の提出を行った上で、外出専用のバックに入れ、最小限の情報のみを携帯するようにしています。また、個人情報データはサーバーにて管理し個人情報漏えい対策には万全を期しています。

(7) 情報公開への取組について

法人では、横浜市が制定する、「横浜市の保有する情報の公開に関する条例」の趣旨に基づき、情報公開規程を定めています。

今年度はありませんでしたが、ケアプラザにおいて情報開示の請求があった場合には、情報公開規程に則り、積極的に情報を公開します。

定期的にケアプラザのホームページの更新を行い、各種事業の開催情報などを、ケアプラザの最新の情報を幅広く市民の方に提供しました。

(8) 人権啓発への取組について

法人主催で全職員を対象とした外部講師による人権研修を開催しました。人権意識を高めるために、参加した職員を講師としてケアプラザ内で伝達研修を行いました。

(9) 環境等への配慮及び取組について

環境保護、限りある資源を有効に活用することを意識し、節電、ペーパータオルの廃止・自転車の積極的利用等、日常的に省エネルギー対策を励行しています。ゴミの減量化に努め、資源ゴミの徹底した分別収集を行いました。

また植栽のボランティアをお願いし、職員と共に環境保全を行い、環境美化に努めました。

毎年電力消費がピークとなる夏季には、クールビズの取組みを周知し、軽装での執務を心がけ、使わない電気はこまめに消すなど、節電に努めました。

介護保険事業

● 指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業

《職員体制》

地域包括支援センター職員 兼務 保健師等2名、主任ケアマネジャー2名
社会福祉士2名、予防プランナー4名

《目標に対する成果等》

お客様のできることを共に発見し、地域のつながりを維持しながら、有する能力に応じた柔軟な支援を行い、自立意欲の向上に繋げていくよう支援しました。

介護予防支援計画は生活機能の低下が生じた原因に対応し、且つ効果がみられるものとなりました。

お客様の介護予防支援計画を作成するに当たり、いつまでに達成できるかがわかるように、具体的な目標をたてます。

プラン作成時は、サービスの実施状況や効果を評価し、横浜市介護予防・日常生活支援総合事業も含めお客様、ご家族の要望をお聞きしてサービスの内容の見直しをしました。

インフォーマル事業の紹介や参加を促し、多様なサービスが利用できるよう配慮した。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

- 通常のサービス地域を訪問・出張する場合の交通費（実費）

《その他（特徴的な取組、PR等）》

予防プランナー会議を月1回開催、制度の説明、自立支援を基本として、インフォーマルも含め適切な支援が受けられるよう、事例検討などを行っていきます。

サービス事業所の選択については、公正・中立の立場で、総合的にサービスを調整しました。

《利用者実績》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
380	377	373	371	368	375
10月	11月	12月	1月	2月	3月
377	377	367	373	381	393

● 居宅介護支援事業

《職員体制》

専任 常 勤： 4 名
 非常勤： 1 名

 兼任 常 勤： 1 名

《目標に対する成果等》

受け持ち件数を上限まで持ち、さらに包括支援センターと連携し、困難ケースを積極的に担当することで、地域の方々が住み慣れた場所で自立した生活が送れるように貢献することができました。

事業実施に当たっては、関係行政機関、地域の保健・医療・福祉、サービス事業所地域の民生委員、ボランティアグループ等と密接な連携を図りサービス提供を行いました。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

通常のサービス提供地域を越える地域への訪問、出張がなかったため、実費負担はありませんでした。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

特定事業所として、法令順守し業務を行いました。
 週1回のケアマネ会議を行いました。介護支援専門員として、専門性を高めるために月1回を目処に地域包括支援センターの主任ケアマネに参加頂き事例検討会を行いました。また、他法人との合同事例検討会を2回開催し、大豆戸地域ケアプラザの協力医の大沼先生の指導を受けました。
 地域包括支援センター主催の地域ケア会議に2回、それぞれ関係するケアマネが出席し、関係行政機関・地域の有識者と情報共有に努めました。
 ケアマネ実習生は5名受け入れました。

《利用者実績》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
189	197	190	195	190	204
10月	11月	12月	1月	2月	3月
203	198	197	206	198	205

● 通所介護・認知症対応型通所介護

通所介護

《提供するサービス内容》

- (ア) お客様が自立した日常生活を営むこと及びご家族のご負担を軽減させていただくことを目標に、お客様の心身の特性を踏まえ、お体の状況に応じて、入浴・排泄・食事等の介護等を行いました。在宅生活継続のためにご希望の方には個別機能訓練を行いました。また、ご家族に向けては、利用日の様子や介護医療に関する助言等を連絡帳で毎回報告し、年に一度家族会を開催し、情報提供及び情報交換等を行いました。
- (イ) 事業の実施にあたり、行政、地域の保健・医療・福祉サービス事業者、ボランティア団体など各関係機関との連携を図り、総合的なサービス提供の調整に努めました。

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

(ア)	1割負担分(日)	2割負担分(日)	3割負担分(日)
(要介護1)	662円	1,323円	1,985円
(要介護2)	782円	1,563円	2,345円
(要介護3)	905円	1,810円	2,715円
(要介護4)	1,030円	2,059円	3,088円
(要介護5)	1,154円	2,307円	3,461円
(イ) 加算(日)			
入浴介助加算	54円	108円	161円
サービス提供体制加算(Ⅱ)	7円	13円	20円
個別機能訓練(Ⅱ)	60円	120円	180円
送迎減算(片道)	-51円	-101円	-151円
介護職員処遇改善加算	1ヶ月のご利用単位数の1000分の59に相当する料金		
(ウ) 食費負担	700円		
キャンセル料	400円		

《事業実施日数》 週 7日

《提供時間》 9:30 ~ 16:30

《職員体制》 介護予防通所介護と全員兼任です。

生活相談員 4名、介護職員 28名(うち4名は相談員と兼務)、

看護職員・機能訓練指導員(兼務) 8名、調理員 5名、運転手 6名、事務 1名

《目標》

自立した日常生活を営むことを目標に、お客様の心身の特性をふまえ、その有する能力に応じて、通所介護サービスを提供していきます。

《その他(特徴的な取組、PR等)》

清潔で安全な入浴、お客様のご意見・ご要望をメニューに反映させた、すべて手作りの昼食とおやつその他、行事やレクリエーションなども季節感あふれるプログラムを提供しました。また、ご希望により個別機能訓練(Ⅱ)を実施し、お一人おひとりの目標や体力に合った計画に基づいて、筋力維持・向上を図り、日常生活動作が円滑に行えるよう支援を行いました。

生活相談員、看護職員等が、ご家族やケアマネジャーとの連絡を密に行い、より良いサービス提供に繋がりました。

冬期のインフルエンザ等の蔓延を防止するため、大型加湿器の導入と送迎車内・デイルーム内での手指消毒の徹底を図った結果、30年度はインフルエンザによる欠席者を最小限(1名)に抑えることができました。

《利用者実績（延べ人数）》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
860	922	926	943	950	909
10月	11月	12月	1月	2月	3月
955	859	811	809	810	906

認知症対応型通所介護

《提供するサービス内容》

(ア) 認知症があるお客様が、可能な限りその居宅において、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、必要な日常生活上の入浴・排泄・食事等の介護等及び機能訓練を行うことで、お客様の社会的孤立感の解消及び心身の機能維持、並びにご家族の心身の負担軽減を図りました。また、ご家族に向けては、利用日の様子や介護・医療に関する助言等を連絡帳で毎回報告し、年に一度家族会を開催し、情報提供及び情報交換等を行いました。

(イ) 事業の実施にあたり、行政、地域の保健・医療・福祉サービス事業者、ボランティア団体など各関係機関との連携を図り、総合的なサービス提供の調整に努めました。

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

(ア)	1割負担分（日）	2割負担分（日）	3割負担分（日）
(要介護1)	1, 072円	2, 144円	3, 215円
(要介護2)	1, 188円	2, 376円	3, 564円
(要介護3)	1, 305円	2, 609円	3, 914円
(要介護4)	1, 422円	2, 844円	4, 266円
(要介護5)	1, 539円	3, 077円	4, 616円
(イ) 加算（日）			
入浴介助加算	55円	109円	164円
サービス提供体制加Iイ	20円	39円	59円
個別機能訓練	30円	59円	88円
送迎減算（片道）	-52円	-103円	-154円
介護職員処遇改善加算	1ヶ月のご利用単位数の1000分の104に相当する料金		
(ウ) 食費負担	700円		
キャンセル料	400円		

《事業実施日数》 週 7 日

《提供時間》 9:30 ~ 16:30

《職員体制》

生活相談員 5名、介護職員 22名（うち5名は相談員と兼務）、
看護職員・機能訓練指導員（兼務）8名、調理員 6名、運転手 6名、事務 1名

《目標》

認知症であるお客様が出来る限り自立した日常生活を営むことを目標に、お客様の心身の特性をふまえ、その有する能力に応じて、認知症対応型通所介護サービスを提供していきます。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

温かい家庭的な雰囲気の中で、清潔で安全な入浴、お客様のご意見・ご要望をメニューに反映させた、すべて手作りの昼食とおやつその他、行事やレクリエーションなども季節感あふれるプログラムを提供しました。また、ご希望により個別機能訓練を実施し、お一人おひとりの心身の状況や体力に合った計画に基づいて、筋力維持・向上のための体操や歩行訓練を行いました。頭の体操や機能訓練ボードによる脳トレに力を入れました。

生活相談員、看護職員等が、ご家族やケアマネジャーとの連絡を密にし、より良いサービス提供に繋げました。

冬期のインフルエンザ等の蔓延を防止するため、家庭用加湿器を1台追加し、2台稼働しました。また、送迎車内・デイルーム内での手指消毒の徹底を図り、30年度はインフルエンザによる欠席者を未然に防止しました。

《利用者実績（延べ人数）》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
217	194	216	237	232	221
10月	11月	12月	1月	2月	3月
222	245	212	187	201	227

● 介護予防通所介護・第1号通所事業

《提供するサービス内容》

(ア) お客様の心身の特性を踏まえ、そのお体の状況に応じて、入浴・食事等の提供を行いました。

(イ) 事業の実施にあたり、関係行政機関、地域の保健・医療・福祉サービス事業者、ボランティア団体等との連携を図り、総合的なサービス提供の調整に努めました。

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

(ア)	1割負担分（月額）	2割負担分	3割負担分
要支援1・要支援2週1回程度	1,766円	3,531円	5,297円
サービス提供体制強化加算（Ⅱ）	6円	52円	78円
要支援2	3,621円	7,241円	10,861円
サービス提供体制強化加算（Ⅱ）	2円	103円	155円
(イ) 加算			
介護職員処遇改善加算	1ヶ月のご利用単位数の1000分の59に相当する料金		
(ウ) 食費負担	700円		
キャンセル料	400円		

《事業実施日数》 週 7 日

《提供時間》 10:00 ~ 16:00

《職員体制》通所介護事業と全員兼任です。

生活相談員 4名、介護職員 28名（うち4名は生活相談員兼務）、
看護職員・機能訓練指導員（兼務）8名、調理員 5名、運転手 6名、事務 1名

《目標》

自立した日常生活を営むことを目標に、ご利用者の心身の特性をふまえ、その有する能力に応じて、通所介護サービスを提供していきます。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

お客様のご意見・ご要望をメニューに反映させた、すべて手作りの昼食とおやつその他、行事やレクリエーションなど季節感あふれるプログラムを提供しました。自立支援の視点に立ち、住み慣れた地域や自宅で、安心して生活して頂けるよう、定期的に体力測定等を行い状態把握に努めるとともに、個別レクリエーションや集団での体操・レクリエーション等に参加いただき、体力の維持・向上を図りました。生活相談員、看護師等が、ご家族やケアマネジャー、地域包括支援センターとの連絡を密にし、より良いサービス提供に繋がりました。

《利用者実績（契約者数）》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
20	20	20	20	20	20
10月	11月	12月	1月	2月	3月
20	20	20	20	20	20

平成30年度「大豆戸地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（一般会計）＜地域活動交流＞

収入の部

(単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	14,174,000	0	14,174,000	14,043,073	130,927	横浜市より
利用料金収入			0	0	0	
指定管理料充当 事業	0		0	0	0	
自主事業収入			0	184,750	△ 184,750	
雑入	0		0	15,600	△ 15,600	
印刷代	0		0	12,850	△ 12,850	コピー代収入
自動販売機手数料			0	0	0	
駐車場利用料金収入			0	0	0	
その他 (指定管理充充分)	0		0	2,750	△ 2,750	公衆電話
その他 (施設使用料相当額 法人負担分)	3,990,000		3,990,000	3,990,000	0	
その他 (提案時控除 法人負担分)	677,071		677,071		677,071	
収入合計	18,841,071	0	18,841,071	18,233,423	607,648	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	11,985,427	0	11,985,427	13,576,267	△ 1,590,840	
本俸	8,746,496		8,746,496	9,254,061	△ 507,565	給与
社会保険料	1,510,997		1,510,997	1,636,278	△ 125,281	社会保険料
手当計	1,239,661		1,239,661	2,204,466	△ 964,805	期末手当、通勤手当、超過勤務手当等
健康診断費	34,579		34,579	61,268	△ 26,689	健康診断料
勤労者福祉共済掛金	8,381		8,381	8,381	0	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	439,438		439,438	406,063	33,375	退職共済掛金
その他	5,875		5,875	5,750	125	予防接種費用
事務費	430,000	0	430,000	1,735,688	△ 1,305,688	
旅費	10,000		10,000	16,700	△ 6,700	出張旅費
消耗品費	71,500		71,500	141,138	△ 69,638	事務用品等
会議賄い費	0		0	0	0	
印刷製本費	36,000		36,000	112,542	△ 76,542	コピーカウント料
通信費	82,750		82,750	320,858	△ 238,108	電話料金・郵送料
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
横浜市への支払分	0		0	0	0	
その他	0		0	0	0	
備品購入費	0		0	356,127	△ 356,127	ワイヤレスマイク・プロジェクター購入
図書購入費	0		0	0	0	
施設賠償責任保険	19,187		19,187	25,589	△ 6,402	賠償責任保険
職員等研修費	0		0	1,111	△ 1,111	研修費
振込手数料	41,000		41,000	42,042	△ 1,042	EBサービス料・為替手数料
リース料	30,453		30,453	121,491	△ 91,038	フロアマット等
手数料	0		0	0	0	
地域協力費	21,000		21,000	0	21,000	社会福祉協議会費等
その他	118,110	0	118,110	598,090	△ 479,980	給与計算委託料等
事業費	1,012,000	0	1,012,000	997,470	14,530	
運営協議会経費	42,000		42,000	14,530	27,470	運営協議会費用
指定管理料充当 事業	970,000		970,000	982,940	△ 12,940	地域交流事業費
管理費	4,454,810	0	4,454,810	4,364,104	90,706	
建築物・建築設備点検	0	0	0	0	0	
光熱水費	1,729,885	0	1,729,885	1,635,231	94,654	
電気料金	567,401		567,401	562,519	4,882	
ガス料金	448,042		448,042	433,336	14,706	
水道料金	714,442		714,442	639,376	75,066	
清掃費	1,379,060		1,379,060	1,055,863	323,197	日常清掃・定期清掃等
修繕費	474,000	0	474,000	343,073	130,927	修繕
機械警備費	122,663		122,663	122,662	1	建物警備
設備保全費	749,202	0	749,202	1,054,068	△ 304,866	
空調衛生設備保守	457,661		457,661	481,822	△ 24,161	空調機器保守管理
消防設備保守	25,814		25,814	63,571	△ 37,757	消防設備保守管理
電気設備保守	85,634		85,634	90,395	△ 4,761	電気設備保守管理
害虫駆除清掃保守	38,720		38,720	70,971	△ 32,251	害虫駆除
駐車場設備保全費	0		0	0	0	
その他保全費	141,373		141,373	347,309	△ 205,936	エレベーター・自動ドア等保守管理
共益費	0		0	0	0	
その他	0		0	153,207	△ 153,207	ゴミルート回収費用
公租公課	958,834	0	958,834	1,086,101	△ 127,267	
事業所税	0		0	0	0	
消費税	958,834		958,834	1,086,101	△ 127,267	人件費消費税
印紙税	0		0	0	0	
その他 ()	0		0	0	0	
事務経費 (計算根拠を説明欄に記載)	0	0	0	0	0	
本部分	0		0	0	0	
当該施設分	0		0	0	0	
二一対対応費	0		0	0	0	
支出合計	18,841,071	0	18,841,071	21,759,630	△ 2,918,559	
差引	0	0	0	△ 3,526,207	3,526,207	

自主事業費収入			0	184,750	△ 184,750	自主事業への参加料等
自主事業費支出			0	982,940	△ 982,940	自主事業経費
自主事業収支	0	0	0	△ 798,190	798,190	

管理許可・目的外使用許可収入	0		0	0	0	駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人収入
管理許可・目的外使用許可支出	0		0	0	0	使用料(横浜市への支払等)
管理許可・目的外使用許可収支	0		0	0	0	

平成30年度「大豆戸地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（特別会計）＜包括・介護予防・生活支援＞

収入の部

(単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料（包括）	39,709,000	0	39,709,000	39,548,192	160,808	横浜市より
指定管理料（介護予防）	151,000		151,000	151,000	0	横浜市より
指定管理料（生活支援）	5,789,000		5,789,000	5,789,000	0	横浜市より
利用料金収入			0		0	
指定管理料充当事業（包括）	0		0		0	
指定管理料充当事業（介護予防）	0		0		0	
指定管理料充当事業（生活支援）	0		0		0	
自主事業収入			0	214,350	△ 214,350	
雑入	0	0	0	235,000	△ 235,000	
印刷代	0		0	0	0	
自動販売機手数料	0		0	0	0	
駐車場利用料金収入	0		0	0	0	
その他（指定管理充当分）	0		0	235,000	△ 235,000	受入研修
その他（提案時控除 法人負担分）	2,541,483		2,541,483		2,541,483	
収入合計	48,190,483	0	48,190,483	45,937,542	2,252,941	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	43,916,293	0	43,916,293	41,614,094	2,302,199	
本俸	24,965,794		24,965,794	24,667,284	298,510	給与
社会保険料	6,001,271		6,001,271	5,505,706	495,565	社会保険料
手当計	11,718,575		11,718,575	10,248,609	1,469,966	期末手当、通勤手当、超過勤務手当等
健康診断費	63,184		63,184	57,776	5,408	健康診断料
勤労者福祉共済掛金	39,881		39,881	45,881	△ 6,000	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	1,118,063		1,118,063	1,084,688	33,375	退職共済掛金
その他	9,525		9,525	4,150	5,375	予防接種費用
事務費	560,000	0	560,000	1,717,074	△ 1,157,074	
旅費	27,950		27,950	32,047	△ 4,097	出張旅費
消耗品費	55,040		55,040	125,363	△ 70,323	事務用品等
会議賄い費	0		0	0	0	
印刷製本費	61,920		61,920	112,542	△ 50,622	コピーカウント料
通信費	150,070		150,070	337,731	△ 187,661	電話料金・郵送費
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
横浜市への支払分	0		0	0	0	
その他	0		0	0	0	
備品購入費	0		0	457,091	△ 457,091	ワイヤレスマイク・プロジェクター購入
図書購入費	0		0	0	0	
施設賠償責任保険	19,189		19,189	25,589	△ 6,400	賠償責任保険
職員等研修費	0		0	68,801	△ 68,801	研修費
振込手数料	17,630		17,630	42,122	△ 24,492	EBサービス料・為替手数料
リース料	13,095		13,095	105,776	△ 92,681	フロアマット等
手数料	0		0	0	0	
地域協力費	15,000		15,000	0	15,000	社会福祉協議会費等
その他	200,106	0	200,106	410,012	△ 209,906	給与計算委託料等
事業費	2,530,000	0	2,530,000	1,043,533	1,486,467	
協力医	630,000		630,000	504,000	126,000	
指定管理料充当 事業（包括）	1,440,000		1,440,000	109,254	1,330,746	
指定管理料充当 事業（介護予防）	151,000		151,000	151,502	△ 502	
指定管理料充当 事業（生活支援）	309,000		309,000	278,777	30,223	
管理費	1,184,190	0	1,184,190	1,160,063	24,127	
建築物・建築設備点検	0		0		0	
光熱水費	459,851	0	459,851	434,681	25,170	
電気料金	150,832		150,832	149,530	1,302	
ガス料金	119,101		119,101	115,191	3,910	
水道料金	189,918		189,918	169,960	19,958	
清掃費	366,584		366,584	280,670	85,914	日常清掃・定期清掃等
修繕費	126,000		126,000	91,192	34,808	修繕
機械警備費	32,606		32,606	32,606	0	建物警備
設備保全費	199,149	0	199,149	280,188	△ 81,039	
空調衛生設備保守	121,655		121,655	128,078	△ 6,423	空調機器保守管理
消防設備保守	6,861		6,861	16,897	△ 10,036	消防設備保守管理
電気設備保守	22,761		22,761	24,028	△ 1,267	電気設備保守管理
害虫駆除清掃保守	10,292		10,292	18,865	△ 8,573	害虫駆除
駐車場設備保全費	0		0	0	0	
その他保全費	37,580		37,580	92,320	△ 54,740	エレベーター・自動ドア等保守管理
共益費	0		0	0	0	
その他	0		0	40,726	△ 40,726	ごみルート回収費用
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税	0		0	0	0	
消費税	0		0	0	0	
印紙税	0		0	0	0	
その他（ ）	0		0	0	0	
事務経費（計算根拠を説明欄に記載）	0	0	0	0	0	
本部分			0		0	
当該施設分			0		0	
二一ズ対応費			0		0	
支出合計	48,190,483	0	48,190,483	45,534,764	2,655,719	
差引	0	0	0	402,778	△ 402,778	

自主事業費収入	0		0	214,350	△ 214,350	自主事業への参加料等
自主事業費支出	0		0	539,533	△ 539,533	自主事業経費
自主事業収支	0		0	△ 325,183	325,183	

管理許可・目的外使用許可収入			0		0	駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人収入
管理許可・目的外使用許可支出			0		0	使用料（横浜市への支払等）
管理許可・目的外使用許可収支	0	0	0	0	0	

平成30年度 地域ケアプラザ収支予算書及び報告書<介護保険事業分>

施設名:大豆戸地域ケアプラザ

平成30年4月1日~平成31年3月31日

(単位:千円)

	科目	介護予防支援			居宅介護支援			通所介護			予防通所介護・第1号通所介護			
		予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	
収入	介護保険収入	11624	9684	1940	39659	41402	-1743	157276	101733	55543	6009	3592	2417	
	その他	21146	12284	8862	2338	2007	331	505	7811	-7306	0	517	-517	
	介護予防ケアマネジメント費	14207	12284	1923			0			0			0	
	事業・負担金収入			0			0			0			0	
	利用料収入	6939		6939			0	505	7554	-7049		517	-517	
				0			0			0			0	
				0			0			0			0	
	その他			0	2338	2007	331		257	-257				0
	収入合計(A)		32770	21968	10802	41997	43409	-1412	157781	109544	48237	6009	4109	1900
	支出	人件費	7089	7815	-726	31829	31056	773	106767	79680	27087			0
事務費		0	167	-167	2039	2050	-11	7311	6554	757			0	
事業費		0	0	0	810	38	772	14401	9537	4864			0	
管理費		0	0	0	0		0	11263	7818	3445			0	
その他		17933	8197	9736	6371	0	6371	24048	14	24034	0	0	0	
利用者負担軽減額				0			0	0		0			0	
消費税				0			0			0			0	
介護予防プラン委託料		9618	8197	1421			0			0			0	
				0			0			0			0	
その他		8315		8315	6371		6371	24048	14	24034			0	
支出合計(B)		25022	16179	8843	41049	33144	7905	163790	103603	60187	0	0	0	
収支 (A) - (B)		7748	5789	1959	948	10265	-9317	-6009	5941	-11950	6009	4109	1900	

平成30年度 自主事業収支報告書

横浜市大豆戸地域ケアプラザ

事業名	①募集対象者	自主事業決算額							
	②募集人数	総経費	収入			支出			
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
これから始めるボランティア講座	地域住民	1120	地活	1120					1120
	15名		包括						
	なし		介護						
			生活						
貸室説明会	貸室団体	10495	地活	10495					10495
	81名		包括						
	なし		介護						
			生活						
ちゅーりっぷコンサート	乳幼児と保護者	10000	地活	10000					10000
	228名		包括						
	なし		介護						
			生活						
大倉山支えあいまつり	地域住民	41940	地活	11140	30800			41940	
	154名		包括						
	200円		介護						
			生活						
大倉山さくらまつり	地域住民	39966	地活	8966	31000			39966	
	155名		包括						
	200円		介護						
			生活						
地域版広報紙「まめのき」	地域住民	92005	地活	92005			92005		
	なし		包括						
	なし		介護						
			生活						
大豆戸新横浜地区地域出張講座・出張相談会	地域住民	0	地活						
	121名(全8回)		包括						
	なし		介護						
			生活						
法テラス無料相談会	地域住民	0	地活						
	2名		包括						
	なし		介護						
			生活						
行政書士無料相談会	地域住民	0	地活						
	6名		包括						
	なし		介護						
			生活						
成年後見のお話(大倉山)	地域住民	0	地活						
	24名		包括						
	なし		介護						
			生活						
成年後見のお話(菊名)	民生委員	0	地活						
	13名		包括						
	なし		介護						
			生活						
成年後見のお話(篠原北)	地域住民	0	地活						
	8名		包括						
	なし		介護						
			生活						

平成30年度 自主事業報告書

横浜市大豆戸地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
まめゆる一む	<p>【対象者】 介護保険サービス使用前の高齢者を対象</p> <p>【目的】 地域の高齢者が気軽に集まり、仲間との相互のふれあいを通じて、楽しみや心に張りがある機会の提供。体操やレクリエーションを行う事で、身体を動かしたらストレッチにより介護予防を目的に開催。</p> <p>【実施内容等】 ストレッチ、脳トレ</p>	<p>月1回 計12回</p>
事業名	目的・内容	実施時期・回数
和みのヨーガ	<p>【対象者】 地域住民</p> <p>【目的】 ヨガを通して、ケアプラザに早い年代から通ってもらい、閉じこもりにならず地域と繋がりを持てると共に働きかけによりボランティア活動に興味を持ってもらう。</p> <p>【実施内容等】 リラクゼーションヨーガ</p>	<p>月1回 計12回</p>
事業名	目的・内容	実施時期・回数
新横浜スクエア ステップ	<p>【対象者】 地域住民</p> <p>【目的】 地域の方々と交流の場になるように、身体を動かすことで介護予防を目的に開催。</p> <p>【実施内容等】 40マスのマットを歩き転倒予防を行う</p>	<p>月1回 計12回</p>
事業名	目的・内容	実施時期・回数
シニア向けスマートフォン講座	<p>【対象者】 地域住民、高齢者</p> <p>【目的】 高齢者が、スマートフォンをきっかけに他者との交流をとるため。また、離れている家族と密に連絡をとれるようになり詐欺等を少しでも防げるようになる。</p> <p>【実施内容等】 スマートフォンの操作方法</p>	<p>月1回 計12回</p>

平成30年度 自主事業報告書

横浜市大豆戸地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
まめどのサロン	<p>【対象者】 地域住民、高齢者</p> <p>【目的】 地域住民がいつでも気軽に立ち寄り、楽しむことができる集いの場・通いの場として運営する。介護予防を兼ねた集いの場として、地域が主体となって支え合いが継続できる居場所をつくる。</p> <p>【実施内容等】 習字・囲碁・麻雀・切り絵・絵手紙・トランプ等</p>	月1回 計12回
事業名	目的・内容	実施時期・回数
口腔ケア講座	<p>【対象者】 地域住民、高齢者</p> <p>【目的】 ケアプラザ以外で、口腔ケア講座を行う事で、おからさんのことを知ってもらおう。また、口腔ケア講座を通して健康意識を高めてもらう。</p> <p>【実施内容等】 口腔ケア講座</p>	1回
事業名	目的・内容	実施時期・回数
スリーA教室	<p>【対象者】 地域住民、高齢者</p> <p>【目的】 「あかるく、あたまを使って、あきらめない」認知症予防のゲームを行い、地域の方々に広く認知症の理解と予防を広めていく。</p> <p>【実施内容等】 頭・指・身体を使う認知症予防の体操</p>	月2回 計24回
事業名	目的・内容	実施時期・回数
男の料理教室 (OB会)	<p>【対象者】 地域の男性</p> <p>【目的】 料理を通して参加者同士仲間作りのきっかけになるように、また、ボランティア活動に興味を持ってもらえるように支援を行う。</p> <p>【実施内容等】 調理、食事</p>	年4回

平成30年度 自主事業報告書

横浜市大豆戸地域ケアプラザ

事業名	目的・内容	実施時期・回数
成年後見のお話 (大倉山)	<p>【対象者】 地域の方</p> <p>【目的】 大倉山地区周辺にお住まいの方が来やすい場所で成年後見制度の基礎知識を知って頂く。</p> <p>【実施内容等】 司法書士の方より成年後見制度の基礎知識を講義頂く</p>	年1回 6月
大豆戸新横浜地区地域出張講座・出張相談会	<p>【対象者】 地域の方</p> <p>【目的】 ケアプラザまで来られない方のため出張相談。ケアプラザを身な場所として感じて頂く</p> <p>【実施内容等】 健康講座・レクリエーション・権利擁護講座等</p>	通年。年8回
法テラス無料相談会	<p>【対象者】 地域の方</p> <p>【目的】 法律の事で不安がある方向けに無料で相談できる機会を作る</p> <p>【実施内容等】 弁護士による無料個別相談</p>	年1回 6月
行政書士無料相談会	<p>【対象者】 地域の方</p> <p>【目的】 成年後見・遺言等で個別相談を希望される方に無料で相談出来る機会を作る</p> <p>【実施内容等】 行政書士による無料個別相談</p>	年1回 9月
成年後見のお話 (菊名)	<p>【対象者】 地域の方</p> <p>【目的】 菊名地区周辺にお住まいの方が来やすい場所で成年後見制度の基礎知識を知って頂く。</p> <p>【実施内容等】 司法書士の方より成年後見制度の基礎知識を講義頂く。</p>	年1回 9月
成年後見のお話 (篠原北)	<p>【対象者】 地域の方</p> <p>【目的】 篠原北地区周辺にお住まいの方が来やすい場所で成年後見制度の基礎知識を知って頂く。</p> <p>【実施内容等】 司法書士の方より成年後見制度の基礎知識を講義頂く。</p>	年1回 10月
横浜市総合保健医療センター医師による相談会	<p>【対象者】 地域のケアマネジャー</p> <p>【目的】 普段、認知症対応で悩んでいるケアマネジャーを対象に総合保健医療センター医師による個別相談を行う事で解決の糸口が見つかるヒントが得られる事を目的とする。</p> <p>【実施内容等】 横浜市総合保健医療センター医師とケアマネジャーとの個別相談会</p>	年1回 9月

平成30年度 自主事業報告書

横浜市大豆戸地域ケアプラザ

事業名	目的・内容	実施時期・回数
まめど歌声プラザ	<p>【対象者】 地域の方</p> <p>【目的】 外出のきっかけ、住民同士の交流の場の提供。また、声を出すことで心身機能を活性化させ介護予防を図る。</p> <p>【実施内容等】 歌</p>	年4回
歌って元気IN大豆戸	<p>【対象者】 地域の方</p> <p>【目的】 歌を通して、閉じこもりにならず地域と繋がりを持てると共に働きかけによりボランティア活動に興味を持ってもらう。地域の方々が気軽に集まり、仲間との相互のふれあいを通じて楽しみや心に張りがある機会の提供。</p> <p>【実施内容等】 弁護士による無料個別相談</p>	年3回
ぐーピー	<p>【対象者】 個別支援級に通う小学4～中学3年生</p> <p>【目的】 障がい児を対象とした放課後余暇支援を行い、地域住民からなるボランティアとの交流を図り、社会規律等を学ぶ機会とする。</p> <p>【実施内容等】 工作、ゲーム、おやつ作りなどのレクリエーション。季節に応じた正月遊びやクリスマス会なども行う。</p>	月1回・年12回
ママとハグハグ	<p>【対象者】 4か月から1歳未満の乳幼児とその保護者</p> <p>【目的】 1歳未満の乳幼児と保護者同士の交流を図る。また、乳幼児ならではの悩みや、地域に関する情報交換を積極的に行えるサロンとして開催。</p> <p>【実施内容等】 手遊びや絵本の読み聞かせ、遊び場や地域情報などの座談会等</p>	年4回
まめっこくらぶ	<p>【対象者】 8か月以上の乳幼児とその保護者</p> <p>【目的】 同じ地域で生活する子育て世帯同士の交流を図るとともに、母親自らイベント、講座の希望を挙げ、参画意識や当事者を持ってもらうことで、将来の担い手となり得る人材の育成を図る。</p> <p>【実施内容等】 参加者のアンケートを基に、ボランティアや子育て支援を行う方を講師に、参加型のイベントを開催する。</p>	月1回・年12回
ひとつぶの会	<p>【対象者】 ボランティア活動を行う地域住民</p> <p>【目的】 ケアプラザや地域で活動するボランティア同士の交流会及び勉強会、施設見学などを行い、ボランティアの育成、資質向上を図る。</p> <p>【実施内容等】 ケアプラザ自主事業へのボランティア依頼、福祉関連施設見学の企画・実施</p>	月1回・年12回

平成30年度 自主事業報告書

横浜市大豆戸地域ケアプラザ

事業名	目的・内容	実施時期・回数
らくらく市	<p>【対象者】 地域住民</p> <p>【目的】 らくらく市実行委員会主催事業。地域住民に向けたケアプラザの周知及び地域貢献</p> <p>【実施内容等】 健康チェックコーナーの実施、地域住民に向けたケアプラザの周知、自主事業の広報を行う。</p>	5月20日
どろっぷデー	<p>【対象者】 地域住民</p> <p>【目的】 地域子育て支援拠点主催事業。地域住民に向けたケアプラザの周知及び地域貢献</p> <p>【実施内容等】 ケアプラザ特製メニューの「まめっち丼」の販売、地域ケアプラザの周知、自主事業の広報を行う。</p>	6月9日
聞き書き講座	<p>【対象者】 小学生</p> <p>【目的】 高齢者との異世代交流の場として実施する。</p> <p>【実施内容等】 高齢者からの話を聞き取り、それを作文にする。文章作成の講師による構成・添削指導も行う。</p>	6月16日、17日、 30日、7月7日
夏休み自由工作教室	<p>【対象者】 小学生</p> <p>【目的】 小学生のケアプラザ来館機会の創出を図る。小学生およびその保護者へのケアプラザ周知。</p> <p>【実施内容等】 夏休みの宿題対策を目的に、木の実や木材を使用した作品を製作する。</p>	7月29日
職業体験	<p>【対象者】 港北区内の中学校 個別支援級在籍の生徒</p> <p>【目的】 夏休み期間を利用して、就労を希望する障がい児（中高生）に職業体験の場を提供、当事者家族へ住み慣れた地域にある就労施設を知ってもらい、地元へ愛着をもってもらおう。</p> <p>【実施内容等】 菊名地区にある就労支援施設のカフェにて、一日店員を体験する。</p>	8月10日 8月24日
ワクワクまつり	<p>【対象者】 地域住民</p> <p>【目的】 港北区国際交流ラウンジと共催。地域住民との交流を図り、地域ケアプラザと国際交流ラウンジをより良く知ってもらう。</p> <p>【実施内容等】 。地域団体、関係団体に模擬店、ステージ出演などに出演協力を得る。ケアプラザでは、特製「まめっち丼」を販売する。</p>	10月14日

平成30年度 自主事業報告書

横浜市大豆戸地域ケアプラザ

事業名	目的・内容	実施時期・回数
みんなで一緒に 〇〇	<p>【対象者】 乳幼児とその両親</p> <p>【目的】 地域及び家族間同士の交流を図る機会を提供する。保護者（両親）への参加促しにより、当該の世代に対してのケアプラザ周知を図る。</p> <p>【実施内容等】 8月水遊び、12月クリスマス会を実施。家族紹介やグループに分かれての交流を行う</p>	8月26日 12月16日
子ども書き初め 教室	<p>【対象者】 小学生</p> <p>【目的】 居場所と日本文化学習の場を提供しケアプラザに足を運んでもらう。ケアプラザの周知、児童同士の交流を図る。</p> <p>【実施内容等】 書道講師による冬休み課題の書道の添削、指導を行う。</p>	12月25日
ふるさと港北ふ れあいまつり	<p>【対象者】 地域住民</p> <p>【目的】 港北区のキャラクター紹介コーナーに「まめっち」を出演させ、大豆戸地域ケアプラザの周知を図る</p> <p>【実施内容等】 キャラクター紹介コーナー、会場内にてお祭り参加者と交流し、ケアプラザ及びまめっちの周知、宣伝を図る。</p>	10月20日
大倉山 ささえあいまつ り	<p>【対象者】 地域住民</p> <p>【目的】 大倉山地区主催の事業。地域住民に向けたケアプラザの周知及び地域貢献</p> <p>【実施内容等】 ケアプラザ特製メニューの「まめっち丼」の販売、健康チェックコーナー実施、ケアプラザで主催する事業の周知を行う。</p>	3月9日
大倉山 さくらまつり	<p>【対象者】 地域住民</p> <p>【目的】 大倉山地区主催の事業。地域住民に向けたケアプラザの周知及び地域貢献</p> <p>【実施内容等】 ケアプラザ特製メニューの「まめっち丼」の販売、ケアプラザで主催する事業の周知を行う。</p>	3月30日
こども料理教室	<p>【対象者】 小学生</p> <p>【目的】 小学生及び保護者へ向けたケアプラザ周知、男の料理OB会の活動場として実施</p> <p>【実施内容等】 男の料理OB会講師とメンバーにサポートへ入っていただき、料理指導を行う。</p>	2月16日

平成30年度 自主事業報告書

横浜市大豆戸地域ケアプラザ

事業名	目的・内容	実施時期・回数
横浜労災病院出張市民講座	<p>【対象者】 地域住民、施設関係者</p> <p>【目的】 平日は就労している子育て世帯や、30代40代層に向けた講座を実施し、ケアプラザの周知を行う。</p> <p>【実施内容等】 子供向け救急講座、成長と発達について、乳がん検診について等の講座を実施する。</p>	11月11日 12月9日 2月11日
ボランティア講座	<p>【対象者】 地域住民、ボランティア希望者</p> <p>【目的】 ケアプラザ、地域でのボランティア活動活性化のために、新たな人材を発掘、育成する。</p> <p>【実施内容等】 シニアボランティアポイント研修、ボランティア体験、活動報告と振り返りを実施。</p>	2月17日 3月17日
ボランティア感謝会	<p>【対象者】 ボランティア</p> <p>【目的】 デイサービス及び各部門の事業へ支援をいただいているボランティアを招き、日頃の感謝を伝える。</p> <p>【実施内容等】 昼食会、交流会、ミニコンサートの実施</p>	3月14日
貸室説明会	<p>【対象者】 貸室登録団体</p> <p>【目的】 大豆戸地域ケアプラザに貸室登録をしている団体向けに、貸室利用に関する説明を行う。</p> <p>【実施内容等】 当施設利用に関するルール、避難経路等についての説明を行う。</p>	3月26日 3月29日
意思決定支援講座	<p>【対象者】 社会福祉士、福祉従事者、関係者</p> <p>【目的】 障がい者に限らず、福祉的なサポートを必要としている人に対して、求められる支援や、権利擁護について学び、当事者たちへの理解と地域としての支援方法について考える機会とする。</p> <p>【実施内容等】 社会福祉士会共催。権利擁護について学ぶ。</p>	12月1日
ちゅーりっぷコンサート	<p>【対象者】 乳幼児とその保護者</p> <p>【目的】 乳幼児とその保護者が家族で参加できるイベントを法人内のケアプラザ地域交流合同で開催する。</p> <p>【実施内容等】 乳幼児向けステージ。参加者も参加型のレクリエーション、パネルシアター、ミニ演劇など実施。</p>	9月29日

平成30年度 自主事業報告書

横浜市大豆戸地域ケアプラザ		
事業名	目的・内容	実施時期・回数
広報紙	【対象者】 地域住民、医療・福祉関係者 【目的】 ケアプラザ事業、地域情報等の発信と広報活動 【実施内容等】 ケアプラザ自主事業の他、支援団体主催事業や貸室登録団体の紹介、医療コラム、包括支援センターからのお知らせ等を掲載する。	隔月発行 (4・6・8・ 10・12・2 月)
事業名	目的・内容	実施時期・回数
	【対象者】 【目的】 【実施内容等】	
事業名	目的・内容	実施時期・回数
	【対象者】 【目的】 【実施内容等】	
事業名	目的・内容	実施時期・回数
	【対象者】 【目的】 【実施内容等】	
事業名	目的・内容	実施時期・回数
	【対象者】 【目的】 【実施内容等】	
事業名	目的・内容	実施時期・回数
	【対象者】 【目的】 【実施内容等】	